

鳴海ヶ丘新聞

第1号
2015年7月16日



栄光まつり開催

6月27日に「栄光まつり」を開催しました。当日はたくさんの方々が、幼稚園に遊びに来て下さいました。

文化の扉

今年テーマは『開け！』芸術を親子で体験し、日本を知って欲しい。そして、違いのある国や民族に興味をもち、世界への扉を開けて欲しい。そんな願いが込められています。

弥生、古墳時代から使われているうちわ。うちわの飾りは、和紙で切り抜いたお花や動物です。最後に金粉を散りばめて完成！世界に一つの素敵のうちわになりました。



平安時代から飲まれているお茶。宗偏流師範の先生の指導の下で、お抹茶を頂きました。



香り高いまるやかなお抹茶は、体験した方々に好評でした。お茶菓子は小さな可愛い動物の形で、子ども達は大喜びでした。

これらの体験はいかがでしたか？日本には、昔からの生活の中に、未来の子ども達に伝えていきたい文化がたくさんありますね。

その他、竹ぼっくり、楽器作りの体験コーナーに、盆踊り。若草会の模擬店、バザーにゲームコーナー、大盛況でした。そして、『マリンバとピアノのコンサート』。マリンバの体験もできました。あゆみお姉さんの、「カレライリスとまねきねこ」の読み聞かせは、楽しかったですね。

これからも様々な文化、国の素晴らしさを、子どもたちに伝えていきましょう！

エコでエコ

黄組



皆さんは世界で一番ごみを出している国がどこかご存知ですか？正解は、日本。一人1kgのごみを毎日出しており、年間で家庭から1〜2トンのごみがでています。

黄組ではごみの分別やりサイクルについて一学期間学んできました。

なぜ分別をするのか「正しく捨てることで新しく生まれ変わるものもある」と話すと、次第に「先生、これは何ゴミ？」「おうちにもこのマークあったよ！」「ゴミの種類や資源製品のマークに注目する姿が見られるようになりました。

今後も限りある資源を大切にすることを伝えていきたいと思えます。(本多)

赤組



水について様々なことを体験し学んでいます。「水の量調べ」では手洗いの時にどれ位の水を使っているかみんなで調べてみました。

お母さん指の太さで水を出すこと、石けんをつけている時は水を止めることを守って洗うと、とても少ない水で洗うことができ、「こんな少しいいんだね！」と驚いていました。

今は学年内で水当番を行い蛇口の水がポタポタしていかないか、水をだしすぎているかチェックしています。

二期期からは全クラス見回りに行くのを、子どもたちは、とても楽しみにしています。(森田)



青組

電気について色々な取り組みをしています。

電気の無駄遣いはしていないか見回りを「エコ当番」。各クラスをチェックし、する側もされる側も互いに節電を心がけるように少しずつなってきました。

「天気、気温、発電量調べ」ではソーラーパネルが作りだしている電気の量をチェックし、日々どのように変化しているのかをグラフに表しています。天気との関係はどうか？太陽の位置との関係はあるのか？など色々な疑問、興味関心を持つことが出来ました。

毎日「エコ当番は？発電量調べは？」と、やる気いっぱいです。

二期期以降も引き続き取り組んでいきます。(早川)



夏休みエコチャレンジ

エコファミリー事業

Which



OR



熱中症。最近よく聞くことばです。クールビズ、随分定着しました。私の子どもの頃はエアコンがありませんでした。

実は、時のクーラーが全国に広がり、行く先々でガンガンに冷やした夏が、何十年かつづき今の温暖化の要因となりました。家電、マイカーの普及も同様です。今こそ、その原因であるCO2削減が急務です。これ以上の温暖化は、伝染病を始め、食物確保等未来の子どもたちの「いのち」の問題です。

夏休み、楽しく、家族がつながるアクティヴエコ、エコチャレンジをしてみましょう！(by K.O)

<エコの取組例> ・ゴミ・水・電気・再利用・リサイクル・自然エネルギー・避暑・朝夕の使いかた・涼感… (詳細は別紙)



暑い夏。電気がない江戸時代の人々が、どんな風に過ごしていたかご存知ですか？風鈴、鈴虫、金魚や朝顔など五感で「涼」を感じながら暑さをやわらげていました。いつもより早く起き、そして早く寝る。夜の消費電力も抑えられ「三文の得」ならぬ「環境の得」ですね。

この夏、早寝早起きで乗り切りましょう。(Y.K)